



- 標高や標高差を読む

基準点・標高点

- ① 基準点の値から道路付近の標高が8.2m
 - ② 標高点の値から堤防上の道路の標高が約10m
 - ② 標高点の値と等高線(補助曲線2.5m)から道路との標高差が~7.5m
- 等高線
- ③ このエリアの等高線を読むと水田は標高0mないしそれ以下、集落は0m以上の土地にあることが分かる

- 地図記号を読む

- ④、⑤、⑥ 河川について堤防がある部分(④)、ガケのある部分(⑤)、堀込みになっている部分(⑥)が判別できる
- ⑦ 「||」「V」といった記号により、おおよその土地利用の状況が分かる
- ⑧ 水制工や河川トンネル口が確認できる
- ⑨ 地図記号の道路両側のケバから盛土上の道路であることが分かる

④土堤 

⑤ガケ 

⑨盛土 

③のエリアの拡大 (1/2500レベル)

